

事務改善提案制度のしおり

昭和二八、八、二五

鳥取縣總務部人事課能率係

はじめに

日常我々が、職場で行う仕事をもう少しハヤク、ラクニ、ヤスク、タダシク行える方法がありそうです。そこで思いついた事をドシドシ提案していただくために、事務改善提案制度を考えました。その要領は次の通りですから遠慮なく利用して下さい。

一、提案者の資格
本県職員であればごなたでも結構です。

二、提案内容
経費の節約、災害の防止、傳票及び用紙類の單純化、ムダや重複の排除、事務用機器の發明及び導入、管理方法の改善、内
部組織、機構の改善、サービスの向上その他どんな些細な事でも事務能率の増進に役立つものであつて、具体的に建設的な
ものがよろしい。

三、提出の方法
別に定める提案票を勤務箇所の庶務係又は人事課能率係からもらつてこれに記入する。

分り易く書き、スケッチや図面は別紙とし人事課能率係宛お出し下さい。

四、提案の処理

能率係では提案票を受けとつたらこれに日付印を押しナンバーを附して切取片だけを受領証(提案会参加証)として提案者に返送いたします。審査中は本名を出さず事務改善研究委員の評価を得て知事(主管事務事業)に採否を決定していただき、採用になつたものは「能率通信」に登載します。なお、不採用のものでも、時を経て條件が変れば実用になるものがでて来ますので、能率係では一ケ年間提案事項を留保しておき、同一事項の提案があつたとき、優先的に再審査を行います。

五、賞金

提案の内容に應じ、これを実施することにより節約できる経費額等を考へて賞金額を決定しますが最低五〇圓最高一、〇〇〇圓とします。このほか次に該当するときは特別賞と努力賞を出します。

特別賞 提案が五件採用になつたとき

努力賞 採用にならないものでも著しく苦心のあとの見えるもの、実用的建設的なものであるとき

六、ヒントのつかみ方

大勢の發明家はその發明を思いつくまでの経路をみると、なかなかよい参考になると、ある雑誌が次のような記事をかかげています。

たとえば、チャールズ、グットイヤーは、あるとき、眞赤に焼けたストープの上に硫黄処理をしたゴムをコボしました。ところが、ゴムは焼けもせず溶けもせず、硬いカタマリになつて縮みあがつてしまつたのです。たいていの人ならメンドウくさそうにそのカタマリを掃きすててしまふところですが、そこはグッドイヤーのこと。ゴムの硬化はここから思いつかれてあの大きなグッドイヤー、タイヤ会社ができることになつたといふのです。

これは、偶然の出来ごごからいゝ考えを思いついた例ですが古い考えや、従來のやり方を十分検討して、その中から改善を思いつくことも仲々多いのです。

安全カミソリで世界的に有名なジレットは、最も大衆的なもので、しかも不斷に使用されるものがないだらうかと考え、アルファベット順に思いつくだけの品物の名をあげてみました。Bのころまで来て、彼はハタとヒザを打ちました。Bazor (カミソリ)が出て来たからです。その当時、カミソリは頗る使いにくいもので危険でもあつたので、ヒゲソリをいやがる人が多かつたのです。そこで安全なカミソリを考案したらその需要は必らず莫大なものに相違ない……。そこでジレットの安全カミソリが生れたといふわけです。

注意ぶかい人ならば、新聞雑誌や各種の書籍の中からもいいヒントをつかみ出して来る。ジョージ、ウエスチングハウスは、鉄道のブレーキ操作のためにどんな動力を使つたらいいものかと、ホット手手焼いておりました。蒸気もダメ、機械自動ブレーキもダメ、そろそろアキラメかけていた時、ふと、スイスのアルプストーン工事に壓搾空気を利用して居るという雑誌記事を発見したので。いくばくもなくして、ウエスチングハウスの空氣制動機が發明されたといふわけです。

むすび

要するに提案とは、鋭い目、敏捷さ、頭腦、勞をいとわぬ研究的態度などの結合であるといえましょう。自分の考案で職員一般が楽になつたり、助かつたりするのを見るのは働らく者にとつて何よりの誇りと満足と興えることでしょう。

あなたを思いつきを大いに出し給え

とおすすめるゆえんであります。

縣ご仕事を愛する

職員各 各位